

2023年12月22日
 日本空港ビルディング株式会社
 東京国際空港ターミナル株式会社
 株式会社羽田未来総合研究所

羽田空港第3ターミナル 日本発の地方創生型ラグジュアリーブランド

「ジャパン マスタリー コレクション」12月22日オープン！

～日本各地の優れた素材・技術・感性を100年後も存続させるために～



日本空港ビルディング(株)と東京国際空港ターミナル(株)は、羽田空港第3ターミナル出国エリア内に、日本発の地方創生型ラグジュアリーブランド「JAPAN MASTERY COLLECTION (ジャパン マスタリー コレクション)：以下JMC」(株)羽田未来総合研究所運営)ブランドショップを12月22日にオープンしました。JMCは、単なるメイド・イン・ジャパン商品の展開ではなく、「守るべき日本の美と技」を未来へ残していくためのプラットフォームを構築し、製品への評価、生産者への資金の還元、後継者育成をジャパン・ラグジュアリーを通じて総合的に目指してまいります。

また、「日本発の地方創生型ラグジュアリーブランド」として、羽田空港から旅立つ国内外の方々のタッチポイントである出国エリア内の新店舗を通じて、日本が世界に誇る技・粋の数々をキュレーションし、オリジナル品も含めてオープン当初は、日本の約30エリアから約400型を展開していきます。

【店舗概要】

- 名称：JAPAN MASTERY COLLECTION
(ジャパン マスタリー コレクション)
- 所在地：羽田空港第3ターミナル 出国エリア内
※国際線にご搭乗のお客さまがご利用いただける出国エリアにございます
- 店舗面積：約188㎡
- 開店日：2023年12月22日(金)
- 運営：(株)羽田未来総合研究所(東京都大田区、
代表取締役社長執行役員 大西 洋)
- 営業時間：7:00～23:00



■ 出国審査を出て右側の免税エリア内

■ 店舗について

①展開について

顧客ターゲットの琴線に触れる心理的キーワードとジャパンプロダクトを掛け合わせた5つのゾーニング展開で構成されます。



A:トラベル：婦人/紳士ファッション・雑貨・アクセサリ

テイストをトラベルなどカジュアルに寄せ、海外のラグジュアリーブランドが使用している素材や工場を活用し、メイド・イン・ジャパンの素晴らしさが伝わるアイテムを展開します。

JMC 限定<MUNI>デニムパンツ



肌触り、伸縮性、染色性、強度とすべての綿花と比べ、最高レベルのオーガニックコットンを用いたデニムジャケットを、岡山県にある某人気デニムブランド指定工場で生産しました。旧型の織機は通常の6倍の時間をかけて、ゆっくりと織られた生地を使用しているため、糸にストレスを与えないできあがりにより、履けば履くほどその人の体形になじむ経年変化と究極の肌触りが楽しめます。フロントのタックボタン、脇にはセルビッジをあしらったシルエットに拘ったデニムパンツです。

<岡山県>デニム 90,000円(税抜)

B:上質な日常：陶器・器・ライフスタイル雑貨

日常生活で使うことで、生活がより豊かになる、現代の生活様式に合った伝統工芸品などを展開します。

<亀井 紀彦>プリザーブドフラワー



草月流師範を取得した亀井紀彦氏は、華道や茶道、盆栽や箱庭にも通じる日本独自の美意識、小さな空間に壮大な世界を凝縮するという視点が特徴の人気の作家です。漆黒の容器はマットな質感で、鉄素材の重みを感じながら蓋を開けると、目にも鮮やかな景色が浮かび上がります。ピンセットを使って、小花を1つひとつ丁寧に挿していき景色を描いた作品です。

<神奈川県>玉手箱(大) 23,000円(税抜)

C:趣味：鑑賞・アート作品

家の中で鑑賞したり、コレクションするものなど、楽しい気分になるような商品を展開します。

JMC 限定<小林工房×牧かほり>デザイン能面



島根県西部(石見地方)に100年

以上受け継がれている伝統芸能「岩見神楽」の能面を、現代風にグラフィックアーティストとコラボし、日本古事記のストーリーからインスパイアされたオリジナル飾り面4種類を製作しました。

<島根県>猿田彦神 150,000円(税抜)

牧かほり：グラフィックアーティスト

花、植物、生き物をモチーフに描き、一枚の絵から、プロダクトや映像、スペースデザインに展開する活動を続けている。

自身の創作活動とともに国内外のアーティスト/企業とのコラボレーションを多く手がけ、近年アップル社、Adobe Systems Inc.との共作をきっかけに、デジタル、アナログ手法を重ねて制作している。

1992年日本大学芸術学部卒業/Art Student League of NY 修学

D: JAPAN LUXURY

日本を代表する人（デザイナー、クリエイター、作家）とのコラボレーションを中心とした JMC オリジナル商品を含めた商品を展開します。

JMC 限定＜mastermind JAPAN×さぬきうるし sinra＞象谷塗



mastermind JAPAN は、MADE IN JAPAN にこだわり日本の素材、伝統技術、最新技術をリアルクローズに落とし込み世界に発信しています。香川県讃岐市の讃岐漆芸「さぬきうるし Sinra」の象谷塗で作ったタンブラーです。讃岐漆器の伝統ある技法を取り入れ、mastermind とコラボレーションし、JMC オリジナル限定 20 個で作りました。

＜香川県＞タンブラー 38,000 円（税抜）

プロモーション

オープン第 1 弾は、「日本の美術工芸を世界へ実行委員会」による特別展「ひかりの底」を予定しています。甘橘山美術館準備室長（小田原文化財団 江ノ浦測候所）を務める橋本麻里氏 をキュレーターに迎え、変化し続ける「工芸」の最先端で活躍する作家 6 名による作品展示と販売を行います。第二弾は、株式会社山本寛齋事務所と当社の共同のファッション企画「婆娑羅 BASARA」を予定しています。

※婆娑羅：鎌倉時代末期から安土桃山時代にかけて流行した風潮をあらわす言葉で、自分が何者であるかを表現する手段、民衆の命懸けの美意識（ファッション）を意味しています。

■ 店舗環境について



JAPAN MASTERY COLLECTION

日本から世界へと人々が日々行き交う羽田空港第 3 ターミナルに新たに誕生する JAPAN MASTERY COLLECTION では、漆作家の手仕事によって仕上げられた、ダイナミックでありながらも繊細な連続した曲げ格子と、そこから溢れる美しい光が招き入れます。そして中へと足を踏み入ると、そこに陳列されている日本が誇るべき品々が、更に魅力的に感じ、訪れた方が世界へと繋いでいきたいと思っただけのように、シンプルでありながらも美しく目に留まるようなデザインをさせていただきました。

JAPAN MASTERY COLLECTION を通じて、日本各地のマテリアル、手仕事、継承されている技術や伝統などが凝縮された品々を、実際に目にし、手に取り、体感し共有され、コミュニケーションを深めることによって、訪れる皆さまは、更に日本への関心や感じられたことを伝えていきたいと思える場となることでしょう。

森田恭通

デザイナー / GLAMOROUS co.,ltd. 代表 森田 恭通 (もりたやすみち)

2001 年の香港プロジェクトを皮切りに、ニューヨーク、ロンドン、カタル、パリなど海外へも活躍の場を広げ、インテリアに限らず、グラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行っている。またアーティストとしても積極的に活動。オンラインサロン「森田商考会議所」を主宰。

■ 販売サービス

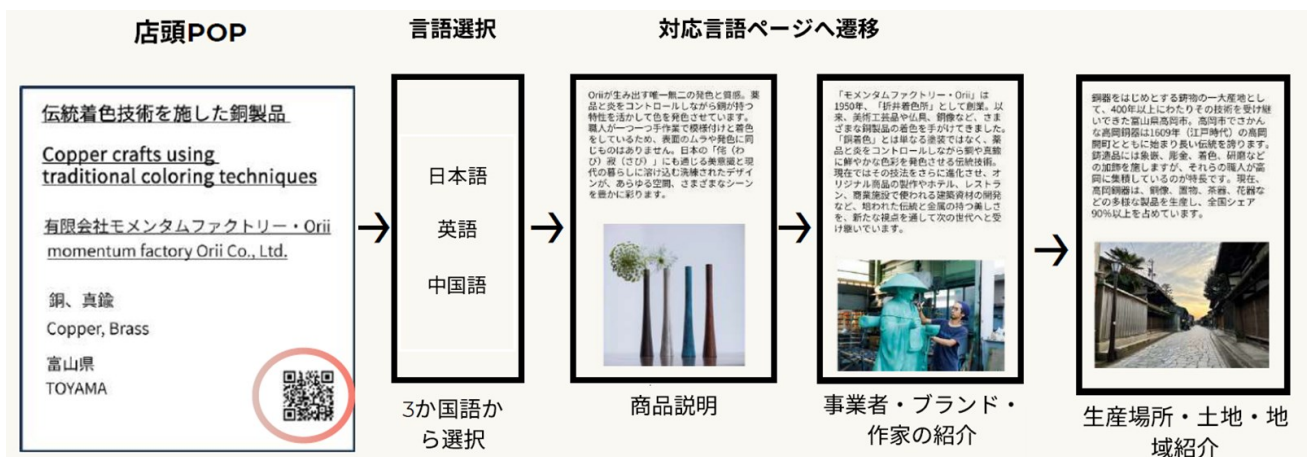
・接客サービス

百貨店クオリティの接客訓練を13名のスタッフにより、常時日本語・中国語・英語に対応できる接客サービス体制を整えています

・マーケティング

購買データや、二次元コードを活用した商品閲覧データ分析から、生産者へ情報をフィードバックし、商品開発へ反映させていきます。

店頭商品の約7割の商品展示の横に、二次元コードを設置し、スマートフォンで読み込むと、3言語（英語、日本語、中国語）で商品説明（産地・生産者・商品）や、画像が閲覧でき、商品背景含めた認知を促し、興味をもってもらえただけにとともに、閲覧データから、“どの商品に関心が高いのか”“どの国の方が購入されたのか”等相对比较が可能となります。



■ JMC イメージ動画について

JMCの世界観を伝える動画を、店舗内で放映します。



動画コンセプト：

日本各地にある緻密で丁寧なものづくりの技術力の素晴らしさを、羽田空港を訪れる国内外のお客さまに感じていただけるようなイメージ動画となっております。

https://byemotion-intl.com/pages/jmc_main

■ 日本発の地方創生型ラグジュアリーブランド「JMC」について

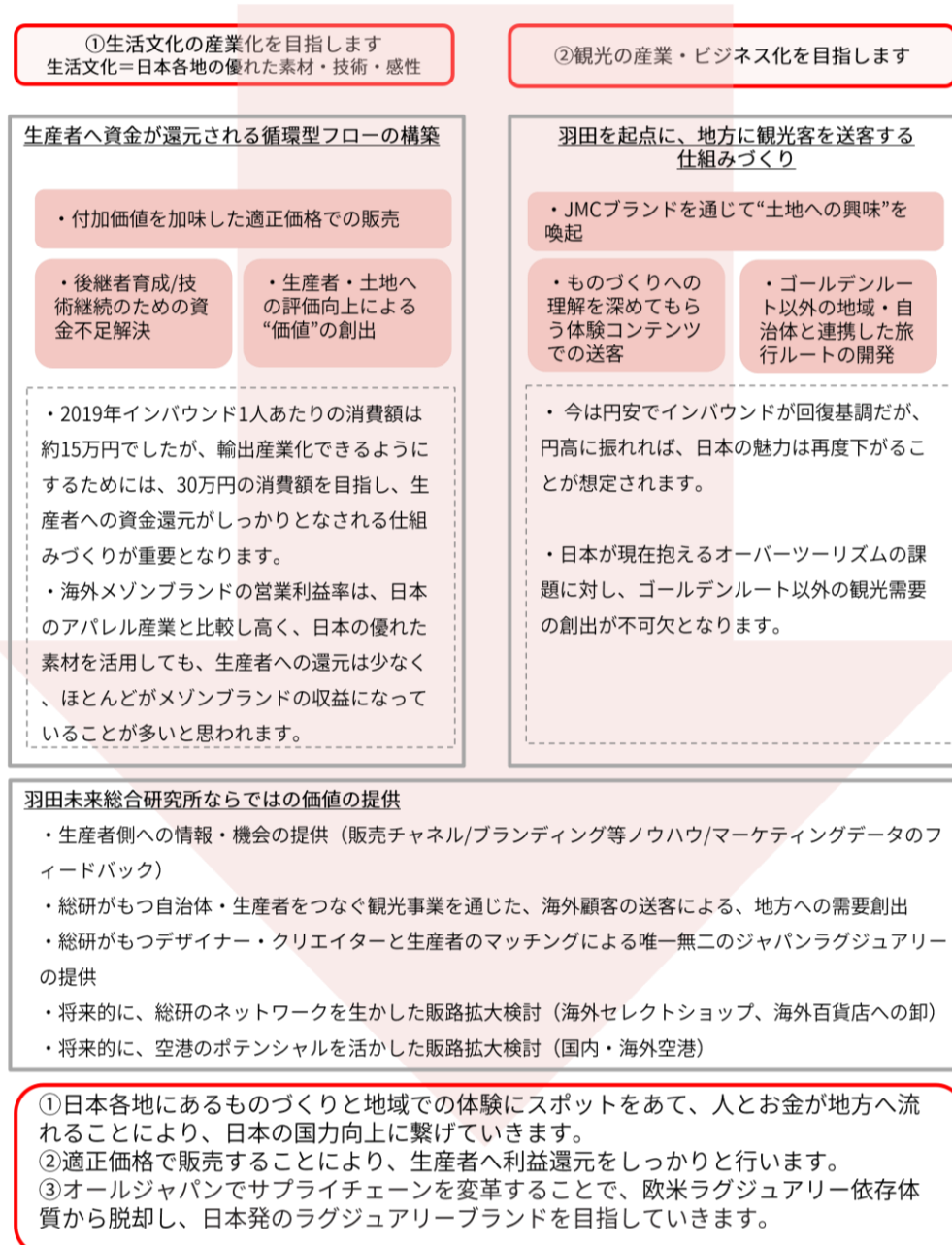


JMCを通じて、歴史や文化に裏付けされた”ものづくりを産業化”し、生産者へ還元される”循環型のプラットフォーム”を構築することで、後継者の育成や地域での新たなビジネス創出、地域への評価向上へつなげ、日本の国力向上に貢献したいと考えております。

また、ファッション業界が抱える欧米ラグジュアリーブランドへの依存体制から脱却し、オールジャパンでサプライチェーンを変革することで、日本のものづくりへのグローバル評価を上げ、日本発のラグジュアリーブランドの確立を目指し、羽田ならではの新たな価値を創出・提供してまいります。

(株)羽田未来総合研究所代表取締役社長 執行役員 大西 洋(おおにしひろし) 東京生まれ。1979年慶應義塾大学卒業。三越伊勢丹HD社長を経て、2018年6月より日本空港ビルデング 取締役副社長、同年7月より羽田未来総合研究所 代表取締役社長を兼任。羽田空港内外で新しい価値創造を目指し、地方創生、文化・アートの発信に力を入れている。

■ (株)羽田未来総合研究所が目指す日本発の地方創生型ラグジュアリーブランドとは



■ (株)羽田未来総合研究所について <https://www.haneda-the-future.com/>

羽田空港の旅客ターミナルの建設、管理・運営を担う日本空港ビルデング株式会社のグループ会社です。羽田空港を軸に、人や地方を繋ぎ、新たなビジネスやブランディング等の価値を創出する「地方創生」・「観光開発」事業や、日本発のアート・文化の発信を行っていく「アート&カルチャー」事業、羽田発のビジネスイノベーションや人材開発を目的とする「コンサルティング」事業・「情報戦略」事業などに挑戦し、新たなビジネス・価値、未来を創造していきます。